

2 千葉市感染症情報センター

千葉市結核・感染症発生動向調査実施要綱に則り、地方感染症情報センターとしての業務を行った。なお、国、他都道府県等の感染症情報センター集計と同様に、本業務についての集計は年単位(毎年1月から12月まで)とし、以下、平成22年(2010年)の概要を報告する。

(1) 業務概要

ア 対象感染症の類別と感染症情報の報告・還元について

千葉市感染症情報センターは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき分類された類型によって調査対象となっている感染症の情報について、千葉市内で収集された全ての情報を、国立感染症研究所感染症情報センター(中央感染症情報センター)に報告している。

報告は、平成18年4月から稼働開始した国が一括管理する感染症サーベイランス新システム(NESID)によって、オンラインで行なわれている。また、感染症の予防、まん延防止に寄与することを目的に、情報の集計、分析結果を、保健所等関係機関に提供するとともに、ホームページで週報、月報等を公開している。

イ 指定届出機関(定点)について

平成22年の千葉市内の定点医療機関は、延べ71箇所である。

内訳は、小児科定点18箇所、内科定点10箇所、インフルエンザ定点(小児科定点及び内科定点と重複)28箇所、眼科定点5箇所、STD定点(基幹定点の重複含む)8箇所、基幹定点(市立青葉病院)1箇所及び病原体定点2箇所である。

(2) 感染症発生動向

平成11年4月の感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「法」という)施行時には、全数把握対象感染症45疾患、定点把握対象感染症28疾患であったが、その後の法の改正及び施行により(最新は平成20年5月)、全数把握対象感染症76疾患、定点把握対象感染症27疾患について発生動向の調査を行っている。

ア 対象感染症

平成22年の調査対象疾患について表2-1-1~2に示した。

イ 1類~4類及び全数把握5類感染症発生状況

全数把握感染症の月別報告数を表2-2-1~2に、年齢層別報告数を表2-3-1~2に示した。

なお、平成21年3月下旬からメキシコ及び米国で発生報告のあった豚インフルエンザ(H1N1)については、厚生労働省健康局長通知(平成21年4月28日付け健感発0428003号)において法第6条第7項に規定する新型インフルエンザ等感染症として位置付けられたが、その後の通知に基づき季節性インフルエンザを含めた通常のインフルエンザサーベイランスとして報告されるようになったことから、平成22年における患者報告はなかった。

ウ 定点把握5類感染症

(ア) 定点把握感染症(毎週報告)

毎週報告の基幹定点対象4疾患・小児科定点対象11疾患・眼科定点対象2疾患について、週別定点当たりの報告数を図2-1-1~2に示した。

(イ) 定点把握感染症(毎月報告)

毎月報告の基幹定点対象3疾患について、報告数を表2-4に示した。STD(性感染症)定点対象4疾患及びその他の非淋菌性尿道炎について、月別報告数を表2-5に、性別・年齢別構成を図2-2に示した。

表 2-1-1 調査対象疾患（類別感染症）一覧

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について

(平成 11 年 3 月 19 日健医発第 458 号通知)

(平成 20 年 5 月 12 日健発第 0512003 号改正現在)

通し No	類	類 内 番 号	対象感染症	届出種類 (全数/定点)	届出、報告時期 (医師 保健所 情報センター 国)	届出対象		
						患者	擬似症 患者	無症状病 原体保有 者
1	1 類	1	エボラ出血熱	全数	直ちに			
2		2	クリミア・コンゴ出血熱					
3		3	痘そう					
4		4	南米出血熱					
5		5	ベスト					
6		6	マールブルグ病					
7		7	ラッサ熱					
8	2 類	1	急性灰白髄炎	全数	直ちに			
9		2	結核					
10		3	ジフテリア					
11		4	重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属 SARS コ ロナウイルスであるものに限る)					
12		5	鳥インフルエンザ(H5N1)(病原体がインフルエンザ ウイルス A 属インフルエンザ A ウイルスであってその血 清亜型が H5N1 であるものに限る。)					
13	3 類	1	コレラ	全数	直ちに			
14		2	細菌性赤痢					
15		3	腸管出血性大腸菌感染症					
16		4	腸チフス					
17		5	パラチフス					
18	4 類	1	E 型肝炎	全数	直ちに			
19		2	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)					
20		3	A 型肝炎					
21		4	エキノコックス症					
22		5	黄熱					
23		6	オウム病					
24		7	オムスク出血熱					
25		8	回帰熱					
26		9	キャサナル森林病					
27		10	Q 熱					
28		11	狂犬病					
29		12	コクシジオイデス症					
30		13	サル痘					
31		14	腎症候性出血熱					
32		15	西部ウマ脳炎					
33		16	ダニ媒介脳炎					
34		17	炭疽					
35		18	つつが虫病					
36		19	デング熱					
37		20	東部ウマ脳炎					
38		21	鳥インフルエンザ					
39		22	ニパウイルス感染症					
40		23	日本紅斑熱					
41		24	日本脳炎					
42		25	ハンタウイルス肺症候群					
43		26	B ウイルス病					
44		27	鼻疽					
45		28	ブルセラ症					
46		29	ベネズエラウマ脳炎					
47		30	ヘンドラウイルス感染症					
48		31	発しんチフス					
49		32	ポツリヌス症					
50		33	マラリア					
51		34	野兔病					
52		35	ライム病					
53		36	リッサウイルス感染症					
54		37	リフトバレー熱					
55		38	類鼻疽					

表 2-1-2 調査対象疾患（類別感染症）一覧

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について

（平成 11 年 3 月 19 日健医発第 458 号通知）

（平成 20 年 5 月 12 日健発第 0512003 号改正現在）

通し No	類	類内番号	対象感染症	届出種類 (全数/定点)	届出、報告時期 (医師 保健所 情報センター 国)	届出対象			
						患者	擬似症 患者	無症状病 原体保有 者	
56	4 類	39	レジオネラ症	全数	直ちに				
57		40	レプトスピラ症						
58		41	ロッキー山紅斑熱						
59	5 類	1	アメーバ赤痢	全数	7 日以内				
60		2	ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）						
61		3	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）						
62		4	クリプトスポリジウム症						
63		5	クロイツフェルト・ヤコブ病						
64		6	劇症型溶血性レンサ球菌感染症						
65		7	後天性免疫不全症候群						
66		8	ジアルジア症						
67		9	髄膜炎菌性髄膜炎						
68		10	先天性風しん症候群						
69		11	梅毒						
70		12	破傷風						
71		13	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
72		14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
73		15	風しん				7 日以内（24 時間以内）		
74		16	麻しん						
75		17	R S ウイルス感染症						
76		18	咽頭結膜熱						
77		19	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎						
78		20	感染性胃腸炎						
79		21	水痘						
80		22	手足口病						
81		23	伝染性紅斑						
82		24	突発性発しん						
83	25	百日咳							
84	26	ヘルパンギーナ							
85	27	流行性耳下腺炎							
86	28	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）		インフルザ [®] 定点					
87	29	急性出血性結膜炎		眼科定点					
88	30	流行性角結膜炎							
89	31	性器クラミジア感染症							
90	32	性器ヘルペスウイルス感染症							
91	33	尖圭コンジローマ		S T D 定点	翌月初日				
92	34	淋菌感染症							
93	35	クラミジア肺炎（オウム病を除く）							
94	36	細菌性髄膜炎			翌週の月曜日				
95	37	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			翌月初日				
96	38	マイコプラズマ肺炎			翌週の月曜日				
97	40	無菌性髄膜炎							
98	41	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症			翌月初日				
99	42	薬剤耐性緑膿菌感染症							
100	新型 インフル	1	新型インフルエンザ	全数	直ちに				
101		2	再興型インフルエンザ						
102	疑似 症	1	摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）	小児科・内科擬似症定点（第 1 号擬似症定点）	直ちに	-	-	-	
103		2	発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該疑似症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。）	小児科・内科・皮膚科擬似症定点（第 2 号擬似症定点）		擬似症定点 国（オンラインシステムによる報告）	-	-	-

表 2-2-2 全数把握感染症の月別発生状況 (2010 年)

類別	感染症の名称	診 断 月 別 件 数 (2010)												
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5 類	アメーバ赤痢	8				2	1	1		2	1			1
	ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型肝炎を除く)	2												2
	急性脳炎	7	3	1					1	1				1
	クリプトスポリジウム症	0												
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1												1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1										
	後天性免疫不全症候群	18	6			1	1	1	2	2		1	1	3
	ジアルジア症	0												
	髄膜炎菌性髄膜炎	0												
	先天性風しん症候群	0												
	梅毒	6		3								1	1	1
	破傷風	0												
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0												
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0												
	風しん	2							1			1		
	麻しん	14	1	2	1	3	1	1	2		1	1		1
新型インフルエンザ	新型インフルエンザ	0												
	再興型インフルエンザ	0												
計		377	33	31	26	31	30	30	37	32	25	34	24	44

表 2-3-2 全数把握感染症の年齢階級別発生状況（2010年）

類別	感染症の名称	診 断 年 齢 別 件 数 (2010)																
		計	0 歳	1 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 歳 ~
5 類	ア메ーバ赤痢	8								2		1	1	2			1	
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	2												1	1			
	急性脳炎	7		2		1	1	1		1				1				
	クリプトスポリジウム症	0																
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1															1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1											
	後天性免疫不全症候群	18						6	1	2	3				4			
	ジアルジア症	0																
	髄膜炎菌性髄膜炎	0																
	先天性風しん症候群	0																
	梅毒	6							1	1					1	1	1	1
	破傷風	0																
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0																
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0																
	風しん	2			1					1								
麻疹	14		7	1	1		1	1	2			1						
新型インフル エンザ	新型インフルエンザ	0																
	再興型インフルエンザ	0																
	計	377	1	13	6	9	10	23	32	25	20	20	23	13	25	23	33	101

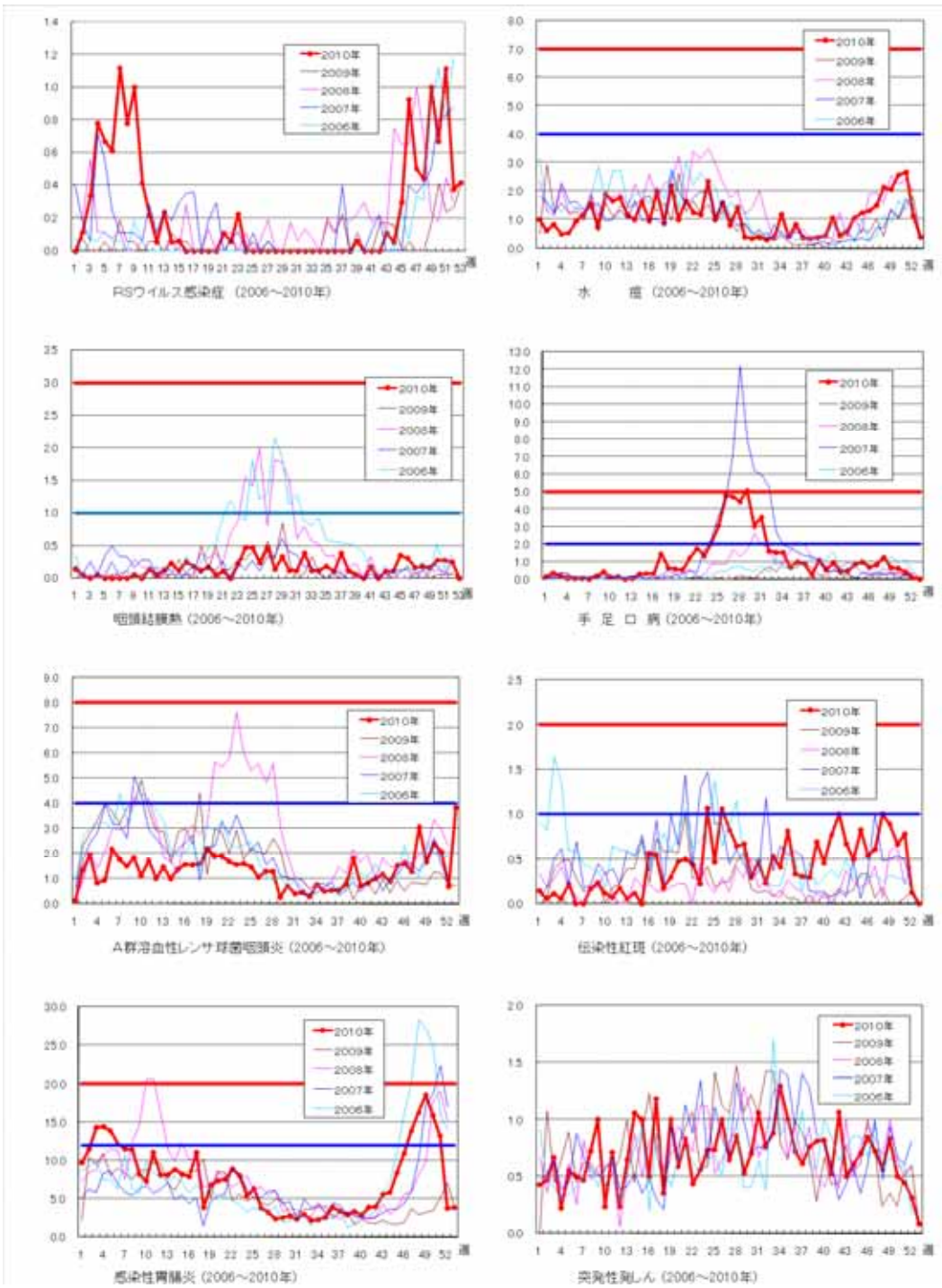


図2-1-1 定点把握感染症(毎週報告感染症分) 縦軸は定点あたりの報告数

：流行発生警報基準値 ：流行発生警報継続基準値 (基準があるもののみ)

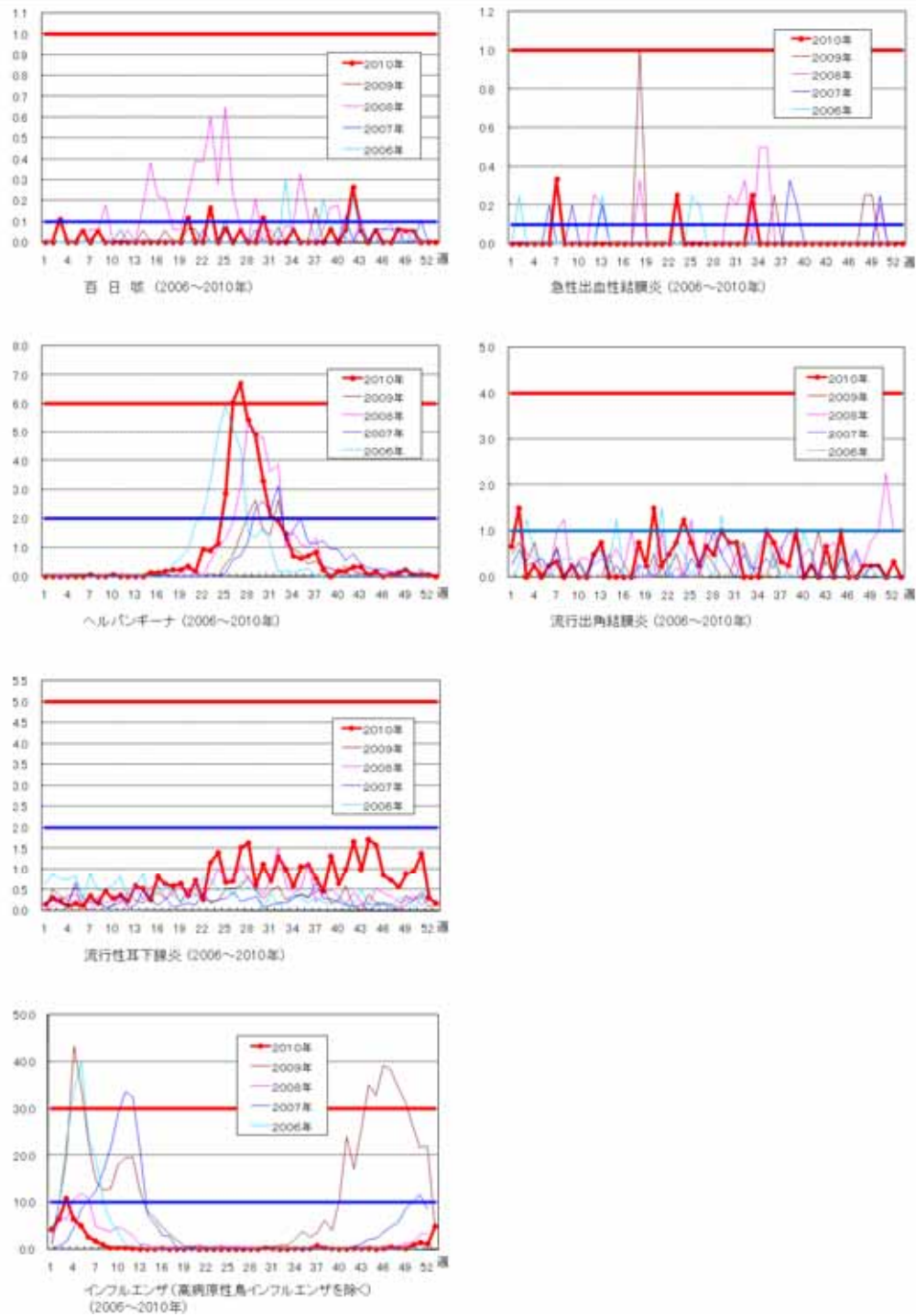


図2-1-2 定点把握感染症(毎週報告感染症分) 縦軸は定点あたりの報告数

：流行発生警報基準値 ：流行発生警報継続基準値 (基準があるもののみ)

表2-4 基幹定点把握の感染症発生状況

種類	感染症の名称	月別件数 2010年												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
5類	メチシリン耐性ブドウ球菌感染症	計	3	0	1	0	0	0	2	2	2	1	0	0	12
		男	2	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	7
		女	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5
5類	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	計	9	8	5	7	0	7	5	13	6	6	10	0	76
		男	6	4	3	3	0	2	3	5	3	3	4	0	36
		女	3	4	2	4	0	5	2	8	3	3	6	0	40
5類	薬剤耐性緑膿菌感染症	計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(数字は患者数)

表2-5 定点把握の性感染症発生状況

種類	感染症の名称	月別件数 2010年												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
5類	性器クラミジア感染症	計	9	8	8	3	5	6	7	8	2	6	5	7	73
			3.0	2.0	2.7	1.5	1.0	1.7	3.0	2.0	0.7	2.0	1.3	1.8	1.9
		男	7	5	5	0	2	5	6	6	2	4	4	3	49
			2.3	1.3	1.7	0.0	0.7	1.7	2.0	1.5	0.7	1.3	1.0	0.8	1.3
5類	性器ヘルペスウイルス感染症	計	7	8	6	3	4	7	7	9	8	8	10	86	
			2.3	2.0	2.0	1.5	1.3	2.3	2.3	3.0	2.7	2.0	2.5	2.2	
		男	5	4	6	3	4	6	7	4	6	7	7	6	65
			1.7	1.0	2.0	1.5	1.3	2.0	2.3	1.0	2.0	2.3	1.8	1.5	1.7
5類	尖圭コンジロマ	計	8	4	6	6	5	7	5	6	5	6	9	73	
			2.7	1.0	2.0	3.0	1.7	2.3	1.7	1.5	1.7	2.0	2.3	1.5	
		男	8	3	2	5	5	6	3	4	3	4	3	4	50
			2.7	0.8	0.7	2.5	1.7	2.0	1.0	1.0	1.0	1.3	0.8	1.0	1.3
5類	淋菌感染症	計	7	5	5	3	3	1	5	6	3	5	1	48	
			2.3	1.3	1.7	1.5	1.0	0.3	1.7	1.5	1.0	1.7	0.3	1.0	
		男	6	5	5	3	3	1	4	5	2	5	1	3	
			2.0	1.3	1.7	1.5	1.0	0.3	1.3	1.3	0.7	1.7	0.3	0.8	
なし	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	計	18	14	9	14	10	15	16	14	17	15	20	175	
			6.0	3.5	3.0	7.0	3.3	5.0	5.3	3.5	5.7	5.0	5.0	3.3	
		男	17	12	8	14	8	13	13	12	16	13	17	11	154
			5.7	3.0	2.7	7.0	2.7	4.3	4.3	3.0	5.3	4.3	4.3	2.8	3.9
なし	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	計	1	2	1	0	2	2	3	2	1	2	3	2	
			0.3	0.5	0.3	0.0	0.7	0.7	1.0	0.5	0.3	0.7	0.8	0.5	
		女	1	2	1	0	2	2	3	2	1	2	3	2	21
			0.3	0.5	0.3	0.0	0.7	0.7	1.0	0.5	0.3	0.7	0.8	0.5	

上段:報告数、下段:定点あたりの報告数

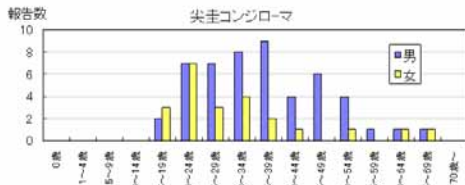
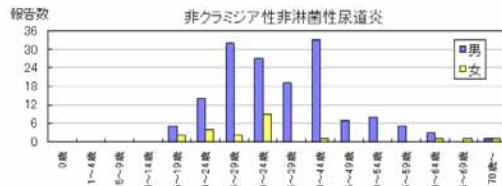
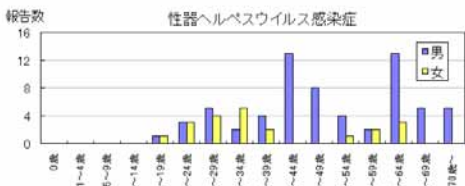
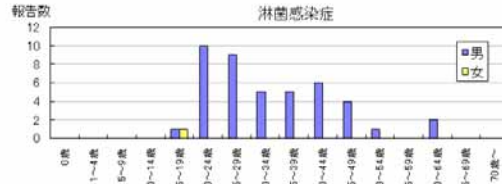
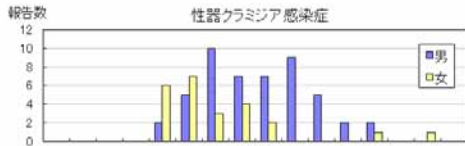


図2-2 性感染症の性別、年齢層別構成